

荒井会計通信



発行日 平成 18年8月28日(月)
発行者 〒162-0825
東京都新宿区神楽坂 3-1-17
ハイポイントビル5階
荒井会計事務所
TEL 03-3235-5180
FAX 03-3235-5190

今年7月から、自宅から徒歩15分にある約10坪の畑を無料でお借りし、耕作を始めた。この畑との出会いは、まったく偶然であった。この荒井会計通信VOL5でご紹介したが、私は自宅周辺斜面緑地の清掃作業を毎月周辺住民と一緒にボランティアで行ってきた。この斜面緑地を所有する6名の地主さんに、清掃作業の承諾を得るために年一回挨拶にお伺いしている。この中の一人の地主さんが“少し離れている所にある畑(約300坪)が2年前からほったらかしになっている。自然を大事にする皆様方に耕作をお願いできないか”との相談があった。早速、自治会で耕作希望者を募集したところ6名の応募があり、畑の耕作を始めたわけである。

荒井昇の辛口コラム⑦

【自然の効能と資本主義の限界】

冒頭に述べた畑の耕作を始め約1ヶ月半になる。最初は、無理をしないでやれる範囲でやればいいと心に誓って始めた。土壌に肥料を混ぜダイコン、キュウリ、ナスを植えてみた。

8月になり暑い日が続き、植えたばかりの苗が枯れてしまうので、深夜に水やりに行ったりし、想定外(気楽にやるつもりが)のことが度々起きる。

無事に野菜が少量でも収穫出来ることを念じてやっている。しかし、やってみる(自然と直に触れる)と、かなりストレス解消になることが分かってきた。作業している間は、自分の周りのことを全て忘れられることである。仕事のこと、家庭のこと、趣味のこと……。

歳を重ねていくと、全てを忘れられるという時間と空間を持つことは精神的に大変大事であることが分かっていく。ストレスは人間にとって最大の敵であることが。

生活するためには、その糧となる仕事が必要なのは誰でも理解できる。しかし一生懸命生きていくと、自然界は我々に必ず褒美を下さる。「一生懸命働いて、ゆっくり休む」、この繰り返しが自然界の原理原則だと思う。

いま人間社会のストレスは以前では考えられない事件を毎日多数引き起こしている。規制のない資本主義経済は都市を中心に地球から緑地を消滅させ、人間からオアシスを奪いストレスを無限に拡大させている。それが地球温暖化をも誘発し、人間社会を地球から滅亡させようとしている。

我々の生活には物や時間に無駄が多すぎる。充分使える商品の廃棄、使い捨て商品・車・携帯電話・パソコン等の氾濫、少子化時代でのマンションの乱立、夜中の小売店営業、深夜のテレビ・ラジオ放送、外食産業の乱立等々。我々は、もっとゆとりのある、未来に夢のある真に豊かな生活が出来るはずである。

『前号からの連載シリーズ第6回』

【魅力ある安定した平和国家を築き上げるためには】



前号までに、5年以内に世界的金融危機が起こる。経済政策の破綻と失敗は、歴史から推測すると、他国(朝鮮や中国等)に責任転嫁している。過去、政治家と軍部が結託し、他国を侵略し、第一、第二次世界大戦への参戦のきっかけをつくった。バブル経済崩壊後約16年経ち、未だに日本経済は根本的に立ち直る兆しが見えない。赤字国債・政府地方債務は毎年60兆円を超える勢いで増え続けている。小泉首相の靖国神社参拝、尖閣諸島の問題等は戦前と同じ怪しい雲行きが迫ってきている。次号につづく

前澤三恵の日は好日

【ジョギングの愉しみ】

幼い頃、運動神経が鈍かった私は、走ることが大嫌いでした。私がジョギング好きになったのは、2年ほど前のことです。あるセミナーで、正しいジョギング法を教わり、その通りに走ってみると、ぜんぜんつらくない。つらくないどころか、走るのって気持ちいいということを知ったのです。

それまでの私にとっては、走ること=トレーニングでした。他のスポーツの基礎トレーニングであったり、やせるためのエクササイズでありました。なにかの目的を達成するための手段に過ぎなかったのです。しかし、走ることそのものの愉しみを知った今では、走ることを愉しむこと、それ自体が目的になりました。

仕事についてもまったく同じことを感じます。以前は、仕事は、生活のためとかかっよく見えるためとかお金のためとかいろいろな目的があつてそのための手段だったのですが、今の自分にとっては、仕事することそのものが愉しく、それ自体が目的になりました。

9月1日より荒井会計を卒業し、自分の事務所を興すことにしました。仕事の愉しみを知ることができたのは、お客様一人ひとり、荒井所長、事務所のスタッフ、在職中にお会いすることの出来た皆様のおかげです。ありがとうございました。

